

第4次大崎町教育振興基本計画

教育施策の方向性と具体的な展開②

今回は、「2 未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進」について6つの観点から町民へ御理解いただきたい内容を掲載します。

ア 確かな学力の定着

- ・児童生徒の学力・学習状況を客観的な調査に基づいた実態把握
- ・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進
- ・学力アップセミナーの実態に即した工夫と改善
- ・学校と家庭が連携した「マイゴールチャレンジ」の展開などによる子どもの学力の定着と学習習慣の確立

イ キャリア教育の推進

- ・小学校では、道徳教育における勤労意識の育成、総合的な学習の時間や特別活動における勤労体験学習や地域の人々とのかかわりなど、キャリア教育の推進
- ・中学校では、生徒の正しい職業観や職責観を養い、自分の住む町への関わり方や自己の将来を真剣に見つめ、進路選択する態度の育成
- ・学校と事業所が連携し、起業家教育も含めたキャリア教育の推進を図る支援

ウ 特別支援教育の推進

- ・共生社会の形成に向けた交流及び共同学習の積極的な推進
- ・校内教育支援委員会の充実と校内支援体制の整備
- ・町保健福祉課や各保育園・認定こども園と連携した就学前の教育相談会の実施と町教育支援委員会の充実、個々の状況に応じた就学指導の推進

エ 幼・保・小・中連携の推進

- ・幼保小情報交換会等を推進し、新入学児の実態を踏まえた教育活動の取組
- ・小学校と中学校の教職員が各教科や領域などの学習の在り方などについて研修を深めたり、各学校の状況などを共通理解したりする連携の強化
- ・生徒指導や学習指導などについて情報交換と、児童生徒個々の実態に応じた学習指導や生活指導などの校種間での継続

オ 国際理解教育

- ・言語や文化が異なる人々と主体的に協働できる児童生徒の育成
- ・郷土への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍する資質・能力をもった児童生徒の育成
- ・小学校と中学校の校種を超えた系統的な英語教育の授業づくりの推進
- ・A L Tや国際交流員等と児童生徒がコミュニケーションをとる機会の提供
- ・これまでの関係性を生かした国際交流の充実(米国シアトル・台湾等)

カ 主権者教育の充実

- ・社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力の育成
- ・投票行動だけでなく、今の生活に置き換えて行動していくかを常に問う教育の充実
- ・自ら思考し判断できる金銭・金融感覚を持った児童生徒の育成
- ・情報機器等を利用したトラブルなどに対応する児童生徒の育成と保護者への啓発
- ・情報モラルの重要性、インターネットの危険性と正しく利用する留意点等の啓発